池田ロータリークラブ週報

2020年11月11日〈3182例会〉　No.3183

国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
（Rotary Opens Opportunities ）
2660 地区のテーマ
BACK, To the FUTURE
（～基本に戻って、未来へ～）
池田ロータリークラブのテーマ
Together Everyone!
（～素晴らしい出会いを求めて～）

ロータリーは機会の扉を開く

例会日　毎週水曜日 12:30～13:30
例会場　池田商工会議所 2F
創　立　1954 年 4 月 24 日
事務局　〒563-0025
大阪府池田市城南 1-1-1
池田商工会議所 2F
TEL （072）752-3355
FAX （072）752-7800
ホームページ: ikeda-rc.com
E-mail アドレス
ikeda-rc@amber.plala.or.jp

2020～2021 年度ＲＩ会長ボルガー・クナーク　RI 第 2660 地区ガバナー簡　仁一　■会長 奥村　勝彦　■副会長　鶴原　英生
■副会長 吉岡　崇　■幹事 北林　寛崇 ■副幹事　南　みどり　■親睦委員長　暮部　光昭　■広報･会報担当　永田　大介

2020-21 年度　会長　奥村　勝彦

今日は 10 月の最終週の定例会で早いもので、今年度も 1／3 が過ぎようとしています。そこで、先程も辻川さんとの懇談会でもお話ししましたが、今年度特に重視しています卓話について、池田 RC をご理解いただくためにも、これまでの話を振り返って見たいと思います。この 4 ヶ月で自分も含めて、9 人の方々にお話いただきました。

トップバッターは 7/15 の橘高さんでした。「五月山へ GO」というタイトルでした。この 2 年でもう 300 回を達成され、年 120 回を目標に 1000 回を目指すというお話でした。継続することの意義を教えていただきましたし、毎回自然との新しい出会いを楽しんでおられるのが良くわかりました。8/5 は岸上さんでした。「コロナ後のために昔の自分を見つめる」というテーマでした。岸上さんに対する自分のイメージがコロリと変わりました。まずこの卓話のために自らパソコンでパワーポイントを作成されたこと。驚きました。そして、若い頃バンド活動にのめり込んでいたことや、その後、池田の市民コンサートの仕掛け人の 1 人であったとは知りませんでした。本当に新しい出会いを感じました。次は 8/24 の「自社について」は宮田さんでした。ビジネスサポートセンターという会社名から本業を側面から支援する会社だけあって多様そのもので、おまけに従業員の子弟用の保育園をやっているとのことで、その社長さんも大変だなあと思いましたが、わりかし平然とこなしておられるところに新発見がありました。これからも十分に多様性を発揮していただきたいと思います。9/2 は山口さんでした。「PCR ならぬアルコール体質検査を受けてみました。」というテーマでした。ミスターRC 定款、細則といわれる方だけに私にとっては意外なテーマでした。アルコールが体内でどの様に消化されていくかについて医学的に説明され、さすがだなと思いました。ただ結論は酒は百薬の長だったんですか？聞き漏らしました。9／7 は「米山奨学生張さんの国台湾」というテーマで私が担当致しました。張さんを迎えるにあたり、「Together Everyone 」で勉強しようということでお話しましたが、台湾再発見となりました。9/16 日は「認知症とはなんだろう」というテーマで幸田さんでした。普段から一言コメントのお上手な幸田さんですから大変楽しみでした。お話の中で、印象に残るのは加齢による物忘れと認知症の違いについてでありました。昨夜の食事内容を思い出せなくても、これは加齢によるもので、食べたことを忘れる様になると要注意とのことで少し安心しました。よぼうにコミュニケーションを保つことが重要とのことですが、まさしくロータリー活動だと思いました。新しい発見です。余談ですが池田ロータリークラブの会員の中には、介護関係の方がたくさんいらっしゃいますが、将来池田ロータリークラブは介護施設付きクラブということもありかなあとしょうむないことを考えたりしてました。10/7 は吉岡さんの「石橋の小さなビジネスホテル」というお話でした。GO TO トラベルキャンペーンの利用される側からのお話で、実にタイミングの良いお話で大変参考になりました。やっぱりと思うほどの複雑な手続きの様ですが、それをやりはった吉岡さんは新しい出会いでした。しかし、良く聞いてみますと肝心のところは奥様がやられたとのことで、これもやっぱりなあということで納得しました。10/14 は木平先生で「子供の歯」というテーマでお話いただきました。歯科医としての専門的な話はよくわかりませんでしたが、印象に残るのは大人の喫煙が子供の成長に悪影響を与えるとの話でした。怖い話です。しかし、ここからが先生らしいところですが、決して喫煙者を悪者扱いしてはいけない、その人もニコチンの犠牲者なんだからと言われるあたりは先生らしいところで再発見でした。次は老人と歯というお話をお願いしたいと思っています。

最後は 10/21 先週の鶴原さんの卓話です。テーマは「超アマチュアが思うゴルフスイング」でした。普段から無口の様でしたから、ゴルフもご一緒したこともありますが、その時は何も教えてもらえませんでした。ゴルフの腕前は超アマチュアですが、今回お聞きして、彼流の理論と技術に基づくものとあらためて感じ入りました。きっとお会社でも社員教育もこの様にしておられることだと社員の方を羨ましく思った次第です。

以上がこれまでの卓話の概要ですが、それぞれ新しい出会いがありうれしく思います。これからの当番の方も普段の言葉で自分らしさを出していただければ、みなさんが感動されることと思います。よろしくお願い致します。以上です。

プログラム

開会･点鐘
ロータリーソング
ゲスト＆ビジター紹介
出席報告
会長挨拶
幹事報告
委員会報告
ニコニコBOX
本日の卓話

本日の卓話

「ガバナー公式訪問」

卓話者：
国際ロータリー
第 2660 地区ガバナー

簡　仁一　様

四つのテスト　　１ 真実かどうか　　２ みんなに公平か

✤幹事報告✤

幹事　北林　寛崇

（地区より）
①11 月度ローターアクト西ゾーン連絡協議会
（親子会）開催のご案内
（RAC 担当　橋本会員

✤ニコニコ BOX✤

プログラム担当：橋本　昌也　会員
ニコニコ　担当：幸田　伸明　会員

林　　功会員：ガバナー補佐訪問を記念して。
今日は、第４水曜ですが、最後までおります。
名村研二郎会員：先週欠席のお詫び。

✤お客様紹介

辻川　功一　様（茨木ＲＣ）
国際ロータリー第2660地区
ガバナー補佐

延原　健二　様（
国際ロータリー第2660地区
ガバナー補佐エレクト

✤前回の卓話✤

クラブアッセンブリー②
（中間報告）

クラブ管理運営委員長
鶴原　英生　会員

管理運営委員会の任務としては、
１、　例会の手配や出欠に関してクラブ幹事をサポートする。
２、　会費の徴収においてクラブ会計をサポートする。
３、　興味深く楽しい例会や親睦行事を開く。
４、　クラブ会報など、クラブのコミュニケーションを促す。

この４点です。
ただ、規制緩和で人々の動きも活発になってきたとは言え、現在もコロナ禍で制約をまだまだ受ける状態が続いております。そこで、現在まで特に主だった行事等はできておりませんが、引き続き今年度の目標達成にむけて許される範囲で夜間例会など、親睦を深める為の行事を幹事、関係委員会と相談し会員の意見を聞きながら行って行きたいと思っております。

３ 好意と友情を深めるか　　４ みんなのためになるかどうか

親睦委員長　暮部　光昭　会員

今年度、新型コロナとの戦いは続いておりますが、親睦委員会の目標は奥村会長を中心に例会・懇親会の出席率を上げ、会員の交流を深め団結力を高めて行く事です。

まずは、例会ですが、昨年度と同じ抽選による座席決めを今年も行っており、ソーシャルディスタンスを保っての例会を心掛けています。入口に消毒液・マスクも用意しています。コロナ渦で７月から９月は中止になっていた食事は１０月から再開しました。１０月からは従前と違いパックのお弁当にし、感染防止対策としてお持ち帰りもでき、１２時過ぎには配膳をして１２時３０分の例会前に取っていただくのも可能になりました。新型コロナの感染拡大防止対策に十分配慮し例会等を運営していきたいと思います。

秋の家族親睦会は中止ですが、１０月３０日にラコンテ有馬にてコロナで延期になっていた新見会員の新入歓迎会及び張さんの歓迎会を行います。

12 月のクリスマス忘年例会は１２月２１日に宝塚ホテルにて開催する予定です。
コロナ渦ではありますが出来るだけのことはしたいと考えています。

春の家族親睦会ですが、新型コロナ対策はもちろんですが昨今ワクチンの話が出てきていますので、行けるのであれば職業奉仕委員会との合同事業を、近江での職業奉仕委員会からの親睦委員会を計画したいと考えております。

コロナ過ではありますが、感染拡大防止に努めながらできるだけの親睦活動を行いたいと考えていますねで、親睦委員会の方々を中心に池田ロータリークラブ全員の力でこの奥村年度を最高に盛り上げていけるようにお力添えをお願い申し上げます。

ロータリー情報委員長
山口　正之　会員

コロナ禍の中、集会や会合も自粛となり、新規の会員を勧誘する機会も減ったためか、今のところ新規の入会希望者はありません。２０１９年の規定審議会において、職業分類の制限の原則廃止が決議されていますので、同業の方でもクラブに相応しい方であれば歓迎しますので、勧誘をお願いします。ロータリーのことをもっとよく知るために、「ロータリーの友」の熟読をお勧めします。地域での活躍や、先輩ロータリアンの苦言（？）など、ロータリーの活動に刺激を与えてくれます。

ＳＡＡ　田中　孝史　様

例会場の管理権者であることから、例会が楽しく秩序正しく運営されるよう常に心を配り

池田ＲＣのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

その使命を発揮できるように設営・監督を心がけております。

本年度 SAA としましては、新型コロナウイルス感染対策のため、出入り口での消毒・マスクの着用・会場の換気対策等を徹底しながら例会を実施しております。又、例会での食事を一時は中止しておりましたが、状況を鑑み１０月から再開しております。

本年度は、幹事・北林さま、親睦委員長・暮部さま、親睦委員会の皆さまに大変お世話になっておりますこと、御礼申し上げます。今後とも会員の皆さまのご協力ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

クラブ研修リーダー
柴田　宜孟　会員

入会予定者もなく、新型コロナウィルス感染予防のため活動が制限されていたため、クラブ研修リーダーとしての活動ができませんでしたが、今後は、入会歴の浅い会員へのフォローアップを図っていきたいと思っております。

奉仕活動委員長　近藤　秀一　会員

ロータリーの対外活動の中心とも言える　4つの奉仕活動を実践する委員会
です。　それぞれの委員会の活動に対してクラブ全体の理解と協力を得るために
クラブ管理運営副会長及び SAA と連携をとり、会長の掲げられた
池田ロータリークラブのテーマー『Together Everyone』～素晴らしい出会い
機会を求めて　を実践していきます。
職業奉仕では、従来の職場見学に留まらず、メンバーそれぞれに職業を通じて
社会に貢献できる活動を目指していきます。
社会奉仕では、従来の継続事業と、地域（池田市）に密着した奉仕活動を
目指しています。今年度は　社会奉仕委員長のほうで、新型コロナ医療従事者を
支援する事業を考えられています。
国際奉仕では、新型コロナフィルス感染症の影響もあり、海外へ出向いての
奉仕活動が実施できるか不透明な状況です。現地へ赴くことなく支援活動を
実施を目指します。
青少年奉仕では､池田 RAC　池田ロータリーから　RAC への出向者の支援
Zoom や web 集会などを利用しての活動を目指します。

会員の皆様と奉仕活動の輪を広げていきたいと思っております。

職業奉仕委員長
田嶋　也寸志　会員

職業奉仕は、新型コロナの影響により、今年度は職場見学を計画せずに、暮部親睦委員長とも相談し、春の親睦旅行先を東近江市の近江商人発祥の地、五個荘を見学しながら近江商人の「三方よし」の精神を学ぶ機会をもとうと計画しています。
ということで、先日、5 度目の Go To トラベルを利用して自転車で東近江周辺を下見してきました。近江商人を題材にした「てんびんの里」の映画を観て、ロータリーの考え方に通じるものがあると感じました。
また、町並みや商人屋敷も美しく、近江牛も美味しく、楽しい親睦旅行になると思います。
コロナの終息を願って、楽しく近江商人について学びましょう

池田ＲＣのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

社会奉仕委員長　豊田　脩一　会員

今年度初めに設定しました活動方針では、『社会奉仕に頑張っている団体・個人を「池田ロータリークラブ賞」として表彰する事業を行なう』としていましたが、新型コロナの感染状況が今年度中には終息する見込みがないこと、そのためにロータリーの奉仕活動に相当の制約がかかると予想されることから、理事会や有識者のご意見を参考とさせていただき、「賞」の設定ではなく、こちらで指定した団体または個人に支援金を寄贈するという活動に方針を転換いたします。対象は、今年最大の災厄である新型コロナに立ち向かっている医療関係者または治療薬・ワクチン研究者に絞り、寄贈することといたします。また、今年度初めから設置しています「新型コロナ医療従事者支援募金箱」は皆さまのご協力を得て順調に募金が増えておりますが、寄贈の際に対象者に併せて進呈したいと存じますのでよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

（新規事業）

池田ロータリークラブ寄贈…池田市周辺の新型コロナ医療関係者または治療薬・ワクチン研究者（法人・非法人を問いません）

贈呈式：未定

寄贈額：相当額（新型コロナ医療従事者支援募金を含む）

（継続事業）

1．　池田市文化振興財団賛助会費
2．　社会福祉協議会会費
3．　赤い羽根募金への協力
4．　三恵園カレンダー購入

（なお、池田市民カーニバル及び池田市美術展は今年度中止になりました）

国際奉仕委員会　名村研二郎　会員

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、海外へ出向いての国際事業が実施可能かどうかは未だ不透明な状況にあります。

そのような状況を鑑みますと、国際奉仕事業は今年度の後半３か月をターゲット期間と考え、事業の実施を検討していこうと思っています。

もちろん、現地へ赴くことが出来なくても国際奉仕として、支援活動を実施することは可能ですし、またこういう機会だからこそ、日本国内にいながらの国際貢献や国際交流を実施する方法、もしくはそこへ繋がるような他の奉仕活動を合同で実施する、また次年度へ予算を送る等、様々な選択肢を視野にいれておきたいと考えています。

中間報告として何か具体的なお話ができる段階にないのは申し訳ございませんが、皆さん

にもご助言を賜りながら進めていきたいと思います。

青少年奉仕委員会　永田　大介　会員

本年度の当クラブにおける青少年奉仕活動内容は、交換留学生がおりませんので、我々が提唱している池田ローターアクトクラブの活動を支援し、見守り、指導する内容が主だった内容になっております。その活動の現状として、コロナ禍においての活動で苦心している部分はあるようですが、①例会を積極的に開こうとしている点、②多岐に渡る専門知識開発に工夫をこらした例会を実践している点、③IOT 技術を導入しながらの工夫、④他クラブからのゲストや独自のコネクションによるゲストが参加し、⑤そのゲストが新加入する等評価できる内容になっております。贅沢を言えば、我々の例会にもまた顔を出してもらいたいなという思いがないわけではありませんが、精々求めたいところがそれくらいしか見当たらないとも言えます。

残念ながら、彼らが対外的に具体的な奉仕活動を企画し実践するには、社会情勢がもうひとつ追いついてきていない感もあり、その点については、彼ら自身が歯がゆく思っていることを会話の中でつぶさに感じとっております。

指導内容としては、前年度の池田 RAC の決算報告を 8 月の理事会にて報告させて頂きましたが、報告が速やかに上がってきた点も評価しつつ、内容として地区大会が通常開催されなかったことによる分担金の徴収が地区からなかったため、前年度決算に余裕が生まれ、繰越余剰金を本年度会計に抱えている状況にあります。この点について、何時、一旦親クラブの会計に戻されることもあるかも分からない旨を伝え、奉仕活動で使いたい場合は、あるから使っておこうではなく、必ず「こういう企画をしたいので、この余剰金を使わせて頂きたいです」というような事前の相談や、せめて報告を親クラブ（橋本 RAC 担当や私の方）へ入れておくようにということを指導しております。また、今年度も RAC の地区大会の開催については非常に不確かで、前年度同様に Web 大会となる公算が高いです。そうなると、本年度は前年度比 10 万円減の青少年奉仕活動予算を当クラブで組んで頂いておりますが、場合によってはその執行を頂いても更に余剰金が出る可能性もありますので、理事会・幹事ともなるべくタイムリーな状況把握と共有に努めて参りたいと考えております。

今後の池田 RAC の本年度の活動としては、年度終わり頃に地区の方で海外研修（台湾）が企画されているようで、それに参加したいという要請があれば余剰金での支援も含めて上伸させて頂こうと考えております。

池田ＲＣのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

11 月のスケジュール

4	水	休会（祝日週）
11	水	3182 回例会 ガバナー公式訪問
18	水	3183 回例会
25	水	休日（第 5 週）

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
　御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
　めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ
　我等のロータリー

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

義捐金ＢＯＸ

10月21日時点累計	133,514 円
10月28日分	1,627 円
累計	135,141 円

ポリオプラス基金

10月21日時点累計	9,457 円
10月28日分	681 円
累計	10,138 円

ニコニコ箱の累計

10 月 28 日現在　418,000 円

11 月 18 日（水）例会

「コロナ後、台湾を再発見」

卓話者：　米山奨学生
　　張　亦瑾　様